

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2013年15週 (4月2週 4/8~4/14)

2013年3月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail : eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先 : 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

インフルエンザ、集団かぜの発生について、
風しん・麻しん
病原体検出情報
定点医療機関コメント
インフルエンザ、感染性胃腸炎、マイコプラズマ肺炎等
全数把握感染症発生状況 ()内は件数。
結核(29)、細菌性赤痢(1)、

腸管出血性大腸菌感染症(2)、デング熱(2)、レジオネラ症(1)、アメーバ赤痢(1)、ウイルス性肝炎(1)、
クロイツフェルト・ヤコブ病(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(5)、
侵襲性肺炎球菌感染症(2)、風しん(8)、麻しん(1)
2013年3月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

インフルエンザ(図1) 【1月16日警報発令】

すべての保健所(名古屋市は16保健所合計)で警報継続の指標(定点あたり報告数10)を下回ったことから、愛知県は4月17日にインフルエンザ警報を解除しました。

15週の定点あたり報告数は2.95、2013年14週1,217人(0.473倍)です。2012/2013シーズンに病原体定点から寄せられた検体よりA型(AH3、AH1pdm09)及びB型(山形系統、ビクトリア系統)、集団かぜ患者検体よりA香港型(AH3)及びB型(山形系統、ビクトリア系統)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】“インフルエンザ警報”を解除します!(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/0000057684.html>

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infl_u_map_new.html

2012/13シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri12_13.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/infl_u/index.html

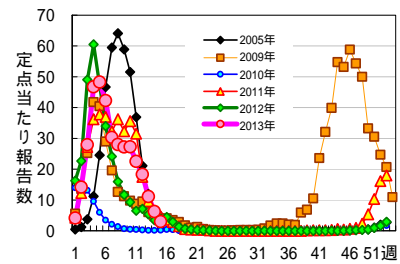


図1 インフルエンザ

集団かぜの発生について(健康対策課発表)

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
4月15日	豊川、津島	集団かぜの発生について(2012-2013シーズン) http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/infl_u/syuudankaze2.html http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/infl_u/ichiran.pdf
4月16日	師勝	
4月17日	一宮	

風しん(図2、3)・麻しん

愛知県の2013年の風しん報告数は、4月17日現在85件(男性70名、女性15名:10歳未満1名、10歳代3名、20歳代22名、30歳代31名、40歳代21名、50歳代7名)、麻しん報告数は4件です。

【参考ページ】麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html

疾患別ウイルス検出情報

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

麻しん患者調査事業における麻しん患者発生報告状況

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2013.html

風疹発生動向調査(国立感染症研究所)

<http://www.nih.go.jp/niid/images/idsc/disease/rubella/2013pdf/rubel13-14.pdf>

「先天性風しん症候群の発生予防等を含む風しん対策の一層の徹底について」の一部改正について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/dl/130226.pdf>

麻しんに関する特定感染症予防指針 一部改正(厚生労働省)

平成25年4月1日適用
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/dl/41214a.pdf>

麻しん対策・ガイドライン(国立感染症研究所)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/guidelines.html>

風しんについて(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index.html

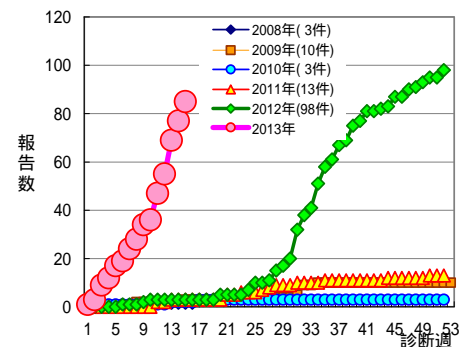


図2 風しん累積報告数

(愛知県、2008年~2013年15週、4月17日現在)

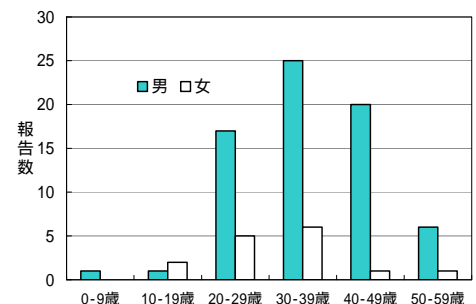


図3 男女別、年齢階層別風しん患者発生状況
(愛知県、2013年1~15週診断分、4月17日現在)

病原体検出情報 - 2013年疾患別ウイルス検出速報 - (2013年4月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルペス	咽頭炎	流行性角膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎	*インフルエンザ	**麻疹
患者数	74	2		4	6	6	3	162	7(16)
FluAH1pdm09								5	
FluAH3								92	
FluB								34	(1)
MeV									4
RSV									(1)
RUBV									1(7)
Rota A	3								
Rota A G1	18								
Rota A G3	1								
NV-G	18								
SV	1								
AstV	2								
Ad-2	3			1					(2)
Ad-3									(1)
Ad-4				1					
Ad-5				1					
Ad-41	1								
B19V									1
検査中	40	2			4	3		19	1(4)
陰性	2			1	2	3	3	12	(1)

*インフルエンザは 2012/2013 シーズンの検査結果
 **麻疹の()内は病原体定点医療機関以外からの患者数の別掲。

略：ウイルス名（他の略名）

Ad：アデノウイルス、AstV：アストロウイルス、B19V：ヒトパルボウイルス B19、FluAH1pdm09：インフルエンザウイルス A(H1)2009、FluAH3：A 香港型インフルエンザウイルス、FluB：B 型インフルエンザウイルス、MeV：麻疹ウイルス、NV：ノロウイルス、Rota A：ロタウイルス A、RSV：RS ウイルス、RUBV：風疹ウイルス、SV：サボウイルス

関連ページ 1) 「疾患別ウイルス検出情報」

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

2) 「2012/13 シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況」

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri12_13.html

3) 「麻しん患者調査事業における麻しん患者発生報告状況」

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2013.html

4) 「麻疹ウイルス分離・検出速報」(国立感染症研究所感染症情報センター)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-measles.html>

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

溶連菌感染症が少し目立ちました。

ロタウイルス腸炎 4 歳女入院例あり

【一宮市 あさのこどもクリニック】

インフルエンザ B 型 2 名

【一宮市 後藤小児科医院】

インフルエンザ 13 名 A 型 1 名、B 型 12 名

【一宮市 一宮市立市民病院】

マイコプラズマ 11 歳男

【稲沢市 医療法人野村整形外科】

インフルエンザは 4 名で B 型のみ

アデノウイルス感染症 4 歳女

【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】

インフルエンザ 6 名(すべて B 型)

アデノウイルス感染症 5 名

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

感染症減少してきました。

インフルエンザ A 型 1 名 B 型 9 名でした。

【犬山市 武内医院】

インフルエンザはおちついてきました。

溶連菌が目立っています。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

29 歳女 マイコプラズマ感染症

39 歳女 病原大腸菌(O18)及び

カンピロバクター検出

1 歳女 ヘルパンギーナ

【清須市 丹羽医院】

インフルエンザ A 型 0 名、

インフルエンザ B 型 3 名

【津島市 医療法人参育会加藤医院】

インフルエンザ B 型 4 名

【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

インフルエンザ B 型 2 名

そろそろ収束と思われます。

その他溶連菌感染症、水痘、突発疹等

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

インフルエンザ 4 名中 B 型 3 名でした。

【日進市 おぎす内科クリニック】

インフルエンザ A 2 人、B 6 人

全体的に感染症落ち着いています。

【豊明市 こども元気クリニック】

インフルエンザ A 型 0 名

インフルエンザ B 型 2 名

【長久手市 医療法人水野内科】

インフルエンザは激少、ムンプスが増加傾向です。

【小牧市 志水こどもクリニック】

B 型インフルエンザ少々

溶連菌感染症少々、感染性胃腸炎少々

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

インフルエンザ、RS ウイルス感染症減っています。

【春日井市 春日井市民病院】

インフルエンザ B 型 男 3 人、女 1 人

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

インフルエンザ少なくなりました。

小児 1 名、成人 4 名

A 型 2 名、B 型 3 名です。

【小牧市 小牧市民病院】

インフルエンザは激減しました。

すべて B 型です。

【春日井市 かがわこどもクリニック】

インフルエンザはほとんどが B 型です。

【春日井市 竹内医院】

インフルエンザ B 1 名

【半田市 医療法人林医院】

インフルエンザ B 6 名

【南知多町 医療法人大岩医院】

インフルエンザ A 型 4 名

インフルエンザ B 型 4 名

ロタウイルス 6 名

1 歳女 アデノウイルス(+)

目の症状が主でした。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

溶連菌感染症がやや目立ちました。

インフルエンザ A 型 1 名(6 歳)のみ

ロタウイルス胃腸炎 1 名(2 歳)

【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

StrepA(+) 2名

ラピッドテストロタ(+) 1歳女
3歳女

E. coli O25 1歳男

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

マイコプラズマ 1人

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

インフルエンザ 陽性

A型 3名

【豊田市 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院】

アデノ(咽頭結膜熱)3歳女、5歳女

マイコプラズマ肺炎 3歳男

インフルエンザ A 1例 B 7例

アデノ感染症多いようです。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

インフルエンザ A 1名 B 4名

アデノ 2歳女、4歳女

【岡崎市 にいのみ小児科】

マイコプラズマ肺炎 5歳女

病原大腸菌O125 3か月女

病原大腸菌O15 10歳男

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

インフルエンザ 4名(すべてB型)

【岡崎市 栗屋医院】

インフルエンザ B型 1名

【岡崎市 医療法人永坂内科医院】

インフルエンザはB型のみ

【刈谷市 田和小児科医院】

インフルエンザ A型 1名 B型 4名

【西尾市 西尾市民病院】

マイコプラズマ肺炎 13歳男

【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

インフルエンザ A型 11名、B型 2名、計 13名

【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】

2歳女 1名 マイコプラズマ肺炎

【豊橋市 マミーローズクリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2013年4月17日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun130401.pdf>

[2013年4月1日改正]

結核（二類感染症）

報告保健所	2013年15週報告数			2013年総計(1～15週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	14	3	5	216	60	38
豊田市				17	6	4
豊橋市	1			11	3	5
岡崎市	3		3	18	3	9
一宮	1		1	19	5	5
瀬戸	4			35	7	9
半田				14	9	3
春日井	3	1		18	5	1
豊川				15	5	3
津島				18	6	7
西尾				9	4	
江南	2		1	15	3	5
新城				4	2	
知多				25	9	8
師勝				7	2	1
衣浦東部	1	1		26	10	3
合計	29	5	10	467	139	101

細菌性赤痢（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	推定感染地域
1	豊川	45歳	女	4/7	4/8	4/11	国内

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

1	名古屋市	11歳	男	- / -	4/8	4/11	O157、VT2(+)
2	岡崎市	25歳	男	3/30	3/30	4/4	O157、VT1(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

デング熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	51歳	女	デング熱	インドネシア
2	豊田市	7歳	女	デング熱	タイ

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	89歳	男	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	豊川	69歳	男	腸管アメーバ症	その他	国内

ウイルス性肝炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	豊田市	7歳	女	その他(サイトメガロウイルス)	その他	国内

クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型
1	知多	87歳	女	家族性

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	名古屋市	71歳	女	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	32歳	男	AIDS	性的接触	国内
2	名古屋市	32歳	女	無症候性	性的接触	国内
3	名古屋市	38歳	男	無症候性	性的接触	国内
4	名古屋市	21歳	男	無症候性	性的接触	国内
5	名古屋市	41歳	男	AIDS	性的接触	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	豊田市	3歳	男	有	国内
2	衣浦東部	78歳	女	不明	国内

風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	45歳	男	無	国内
2	名古屋市	46歳	男	不明	国内
3	名古屋市	28歳	男	不明	国内
4	豊橋市	30歳	女	無	国内
5	豊橋市	48歳	男	不明	国内
6	春日井	41歳	男	不明	国内
7	豊川	20歳	男	不明	国内
8	江南	37歳	男	無	国内

麻しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	豊橋	19歳	女	無	国内

3月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲。〕

2012～2013年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2013年3月			2013年 累計 <愛知県全体>	2012年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	60 (13)	63 (9)	123 (22)	410 (84)	1,937 (485)
三類 (5)	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	13 (1)
	腸管出血性大腸菌感染症	3 (2)	1 (0)	4 (2)	6 (3)	163 (59)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
	パラチフス	1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)
四類 (42)	E型肝炎	0	0	0	0	1
	A型肝炎	0	0	0	2	7
	チクングニア熱	1	0	1	1	0
	つつが虫病	0	0	0	1	2
	デング熱	1	0	1	1	13
	マラリア	0	0	0	2	3
	ライム病	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	2	0	2	14	50
五類 (16)	アメーバ赤痢	1	3	4	16	61
	ウイルス性肝炎	0	0	0	1	12
	内訳					
	B型	0	0	0	0	11
	その他	0	0	0	1	1
	急性脳炎	1	0	1	10	20
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	4	10
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0	1	3	11
	後天性免疫不全症候群	0	5	5	18	117
	内訳					
	無症候性キャリア	0	3	3	12	74
	AIDS	0	2	2	6	39
	その他	0	0	0	0	4
	ジアルジア症	0	0	0	0	2
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	1
	先天性風しん症候群	1	0	1	1	0
	梅毒	1	3	4	10	38
	内訳					
	無症候	1	2	3	6	21
	早期顕症	0	1	1	4	13
	晚期顕症	0	0	0	0	4
	破傷風	0	0	0	0	4
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	5	5
	風しん	24	11	35	69	98
	麻しん	2	0	2	3	39
	総計	99	87	186	581	2,611

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2013年3月			2013年 累計	2012年 総計
		愛知県 <small><名古屋を除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	73	76	149	380	1,620
	性器ヘルペスウイルス感染症	38	23	61	179	709
	尖圭コンジローマ	18	14	32	90	358
	淋菌感染症	18	30	48	147	637
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	67	24	91	276	1,361
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	5	1	6	28	120
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	6	6
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0

感染症の類型及び定義(感染症法)

2013年3月31日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症* (43疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (42疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

*2013年3月4日に四類感染症に「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」が追加されました。

